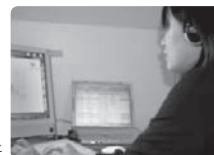


け、タイムリーな情報共有を可能としました。ユーザインタフェースにはOKIのユニバーサルデザインの考え方を応用し、操作ボタンのテンキー対応、標準的な会話文を登録した自動発声機能などを用意しています。

※ 特列子会社：「障害者の雇用の促進等に関する法律」に定める、障がい者の雇用に特別の配慮をした子会社。



在宅勤務の様子



クオールアシスト株式会社  
取締役 在宅事業部 部長  
障害者職業生活相談員  
青木 英 様

在宅勤務者向けのシステムでは、自宅の中を見られてしまう映像通信は不要である一方、メンバーが自由に会話できる仮想会議室が不可欠です。「ワークウェルコミュニケーター」を利用することで、社員のコミュニケーション力や会話力が確実に向上し、在宅勤務者からも「出勤して仕事をしている感覚を得られる」「働いていると強く実感できる」「孤独感がない」といった高い評価を得ています。

## 2012年度の状況

# 株主・投資家への情報発信

OKIグループは、株主・投資家の皆様に、経営戦略、経営成績などの有用な情報を適時・適切に開示するよう努めています。専任部署であるIR室を中心に情報開示やIR活動を積極的に推進するとともに、インサイダー取引の防止を徹底しています。

### 【プリンタ事業戦略に関する説明会を実施】

OKIは、市場の声を適切に経営や事業活動に活かすことが経営の効率化と企業価値の向上につながるという認識のもと、社長をはじめ経営陣自らが、投資家説明会やIRミーティングなど各種のコミュニケーション活動を実施しています。2012年度は、海外子会社における不適切な会計処理に関連する情報の迅速・的確な開示と説明に努めるとともに、2013年3月には中期経営計画達成の鍵となるプリンタ事業の戦略に関する経営説明会を実施し、OKI社長、およびプリンタ事業を行うOKIデータの社長が、プリンタ事業の位置づけや成長戦略について説明を行いました。



プリンタ事業戦略に関する経営説明会の様子  
(2013年3月)

### 【IRサイトやニュースメールで情報を発信】

OKIは、情報開示の公平性を保つため、決算情報をはじめとするさまざまなIR情報を、自社のウェブサイト(IRサイト)に日本語・英語で同時掲載しています。投資家の皆様にとってより使いやすいサイトをめざして継続的な改善に努めており、モーニングスター株式会社 Gomez・コンサルティング事業部(Gomez)

が2013年3月に発表した「Gomez IRサイト総合ランキング 2013」では銅賞を受賞しました。



また、決算情報や証券取引所へのファイリング情報、新商品・サービスなどのプレスリリース情報、IRサイト更新情報などを電子メールで配信する「OKIニュースメール」(日本語・英語)を、機関投資家など約1,500名の方々に随時配信しています。

### 【インサイダー取引防止を徹底】

OKIグループは、株主・投資家保護や証券市場の信頼性確保のため、未公表の情報を利用した株式などの売買を行わないこと、また、その情報を他の者に提供しないことを「OKIグループ行動規範」に明記し、インサイダー取引の防止に努めています。2012年度は「コンプライアンス管理者研修会」においてこのテーマを取り上げ、近年の他社における違反事例なども交えて、再徹底を図りました。

### SRIインデックスへの組み入れ状況

SRI(社会的責任投資)インデックスとは、財務面とともに、CSRも重要な評価基準としている株価指数です。OKIは、2013年4月1日現在、「モーニングスター社会的責任投資インデックス(MS-SRI)」\*の構成銘柄に採用されています。

\*「モーニングスター社会的責任投資株価指数」は、モーニングスター株式会社が国内上場企業の中から社会性に優れた企業と評価する150社を選定し、その株価を指数化した国内初の社会的責任投資株価指数です。

